

東京可愛山同窓会 会報

題字 菊池史憲

発行
東京可愛山同窓会
編集責任：吉留和男
Vol. 15
平成 28 年 4 月 1 日

東京可愛山同窓会会員の強い絆

東京可愛山同窓会

会長 桐原 保法
(川高十七期)



東京可愛山同窓会
会員の皆様には、ま
すますご清栄にお過
ごしのことと拝察い
たします。

皆様にはかねてより
本会活動へ多大なご支援をいただき
誠にありがとうございます。昨年、愛
甲彰人前会長からバトンを引き継が
せていただきました桐原保法です。本会
の発展のためにできる限りの貢献をさ
せていただきたいと思います。皆様の一
層のご支援ご協力を願ってや
みません。

さて、平成二十八年度東京可愛山同
窓会総会を開催する時期となりました。

この冬は暖冬と言われながらも、川
内でも久方ぶりの大雪に見舞われたり
各地で不順な天候が続きましたが、時
の経過とともに例年のように花が咲き
暖かい季節が巡ってまいりました。

本会は先輩後輩の垣根を越えた同窓
生の親睦を深めるとともに、母校の支

援を行うことを目的に運営され
てきたものと理解しております。
す。会員有志による母校ポ
部への長年にわたる支援など特
筆すべきものと思えます。

もちろん、各学年の同期会、

クラス会、あるいは同好の士の集まり
など、各層で展開していただいている
ものと理解しております。また、一昨
年発足した踊り連「川内高校 気張
やんせ連」の応援等も行っています。

「川内高校 気張やんせ連」は、会員
も約百名となり、東京と鹿児島のお
はら祭りにも参加しています。私自身も、
昨年十月月末に薩摩川内市で開かれた
国民文化祭「全国はんやの祭典」に気
張やんせ連の一員として参加しまし
た。若い方々に教わりながらの参加で
したが、楽しいひと時になりましたし、
いい思い出作りができたように思いま
す。

昨年は五十回記念総会ということも
あり例年に比べて若い方々の参加も多
く、華やかな会となりましたが、こ
ういった世代を超えた会員相互の交流の
場を増やしていくことによって本会活
動の一層の活性化に繋げていければと
願っております。

今年の総会も幹事諸氏のご努力によ
り、皆様にお楽しみいただけるよう
場づくりに努めておりますので、会員
の皆様、ぜひご参加ください。

本会の運営に関するご協力ご提言等
を心からお願いたします。

第51回 東京可愛山同窓会のご案内

会長 桐原 保法



日 時：平成 28 年 6 月 4 日 (土)
12 時～15 時
受付開始：11 時 30 分
総 会：12 時 00 分～12 時 30 分
懇親会：12 時 30 分～15 時 00 分

場 所：東海大学校友会館「阿蘇の間」
〒100-6035 千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビル 35 階
TEL 03-3581-0121

会 費：一人 8,000 円 ご夫婦 15,000 円
川高 6 期以前の方 5,000 円
川高 59 期～64 期の方 5,000 円
(すべて年間維持費 1,000 円込み)
※卒業後 4 年間無料 (但し、年間維持費 1,000 円)

連絡先：川高 20 期 尾曲 博司
TEL 090-4676-3674
川高 24 期 皆元 正幸
TEL 03-3265-5890 (昼間)

ご出席の場合、5 月 23 日 (月) までに所定の方法 (左記：同窓会事務
局掲示板参照) でお手続きして頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

東京可愛山同窓会事務局掲示板

○平成 25 年から会費の値下げをいたしました。

川高 6 期以前の方や卒業後 5 年から 10 年の方 (平
成 19 年卒 59 期～平成 24 年卒 64 期) は、ともに参
加費 4,000 円となります。

また、高校卒業後 4 年間は、学生、社会人とも無料
ですが、今年は平成 25 年 3 月卒 (65 期) から平成
28 年 3 月卒 (68 期) の方々が該当します。

なお、年間維持費は一律 1,000 円になりますので、
参加者は上記金額に年間維持費を加えた金額を次
によりお支払いください。

○参加費の支払い方法

- 1 同封の振り込み用紙にて所定の金額をお振込み
ください。
- 2 振り込み用紙で出欠の確認を行いますので、振
り込み用紙には卒業年度、氏名、住所、電話番
号を必ずご記入ください。
- 3 振り込み用紙には振込先が印刷されています
が、振り込み用紙を紛失したり、メール等で総
会の案内を知った方々のために振込口座をお知
らせします。

(郵便局の口座) 口座記号 00140-2
口座番号 714884
口座名 東京可愛山同窓会

八年間有難うございました

可愛山同窓会 会長 山田 稔 (川高十七期)



東京可愛山同窓会会員の皆様には益々ご健勝にて各方面でご活躍のことと拝察申し上げます。皆様にはかねてより可愛山同窓会にご支援・ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。厚くお礼申し上げます。

さて、薩摩川内市は川内原子力発電所再稼働の件で最近何かと全国の耳目を集めていましたが、昨年の再稼働により市外・県外からの反対派の方々の集会やデモ行進もほぼ無くなり、ようやく落ち着きを取り戻した感じですか。原発についてはさまざまな考え方があって当然です。賛否いろいろですが、実際に原発の立地地域に住む我々の声はほとんど報道に反映されていない気がするのが残念です。電力消費地に暮らす東京同窓会の皆さんは出身地のこの問題をどう捉えていますか？

ところで、ややこしい話は脇に置いておきまして小生は新屋前会長の後任として可愛山同窓会会長を平成二十年就任以来四期八年間努めて参りましたが、今年度(平成二十七年)をもちまして退任することと致しました。このことは役員会においてはすでに承認戴きましたので、八月の本部同窓会定期総会において後任人事も含め正式に決定する予定であります。

明治三十年創立の公立普通科高校としては県内で二番目に古い歴史を誇る川内高等学校は、来年創立百二十周年の記念すべき年にあたります。新会長を中心にして周年事業の計画が出来ましたら皆様にもご協力をお願いすることになると思いますので宜しくお願い致します。

任期中一回だけ出席できませんでしたが、今年六月四日に開催されます東京可愛山同窓会総会には出席を予定していますので、直接お礼のご挨拶が出来るかと思いますが東京同窓会の皆様には毎回参加する度に暖かい歓迎を受けていましたことを改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、東京可愛山同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げますと共に、八年間のご支援ご協力に重ねて感謝申し上げます。ご挨拶と致します。

東京可愛山同窓会に寄せて

鹿児島県立川内高等学校 第二十六代校長 藤崎 恭一



花や草木が陽光を浴び、光り輝く季節となりました。皆様のふるさとの母校川内高校も新年度を迎え、また、新しい歴史のページ創りに着手いたしました。「東京可愛山同窓会」の会員の皆様には、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校も今年度いよいよ創立百十九周年を迎え、県下有数の伝統ある名門高校として更なる躍進を期しています。私も全力で職責を果たし、川内高校の更なる発展のために貢献したいと更なる決意を固めております。どうぞよろしく願います。

昨年度末には五階建ての生徒新校舎が完成し、今春からすべての生徒が新しい学舎で勉学に励んでおります。一階部分には職員室、保健室、家庭科室(被服実習室・調理実習室)、二階、三階、四階にはそれぞれ、一年生、二年生、三年生が学年ごとに机を並べ、五階部分には進路指導室、書道室、美術室・美術工芸室、共通講義室が三教室配置されています。また、エレベーターも設置され、五階からは旧川内市街地が一望できる絶好のビューポイントとなりました。同窓生の皆様の青春時代の数々の思い出が刻まれている旧生徒校舎が本年度中に撤去されるといふ寂しさも、唯一の気がかりではございませんが、本校にお立ち寄りの際には、是非新校舎をご見学頂きたいと思っております。

昨年度の教育活動の概要について報告いたします。「自立・敬愛・剛健」の校訓のもと、今春の卒業生も進学面では、三月二十三日現在で、国立大学合格者が百三十四名(現役は熊本大学医学部医学科、大阪大学等を含め百二十一名、過年度卒は十三名)、私立大学にも関西大学、同志社大学、立命館大学などの有名私大をはじめ多数の合格者を出しております。また、部活動におきましても、全国大会で関東同窓会の皆様方に毎年熱い応援をいただいています男子バスケットボール部は県大会の五連覇は、残念ながら逸しましたが、九州大会への出場を果たしながら、新チームでの捲土重来を期しています。全国大会には女子漕艇部、書道部、美術部、放送部が、九州大会には女子バスケットボール部、男子漕艇部、陸上部、男女水泳部、空手道部が出場するなど、数々の実績をあげております。先輩方が残された有形無形の遺産を糧として、新しい伝統が創造され続けていることを大変うれしく思います。終わりに、「東京可愛山同窓会」の益々の発展と会員の皆様方の御多幸を祈念いたしましてご挨拶いたします。



新校舎五階の眺望



五階建て右新校舎

東京可愛山同窓会五十周年記念画像集

第 I 部 記念祝賀講演：林家種平師匠



第 II 部 総会



愛甲会長 あいさつ



新原議長による議事進行



可愛山同窓会山田島会長祝辞



祝賀来賓の川内高校・福岡・関西・本部の方々



川内高校藤崎校長挨拶

第 III 部 懇親会

参加者最年長の長谷場様：乾杯の音頭



種平師匠を囲んで記念撮影



関西支部山口会長祝辞

東京可愛山同窓会副会長
東京薩摩川内会会計幹事
あびこ鹿児島県人会副会長

久保信行

(川高10期)

IJEC
カウンセリングカレッジIICC代表
東京家政大学名誉教授
医学博士

橋口英俊

IJEC事務局
〒170-0013
東京都豊島区東池袋3-7-11-806
電話 090-1553-2933

(川高7期)

東和電気株式会社

特別顧問 相談役
藤峯武一

本社：〒105-0004
東京都港区新橋2丁目13番8号
電話 03-3504-1511
FAX 03-3580-6162
事業所：国内10支店・海外10支店

(川高6期)

田中正治
国際特許事務所

弁理士
田中正治
〒100-0014
東京都千代田区永田町2丁目4番7号
秀和永田町レジデンス502号
電話 03-5251-7791
FAX 03-3580-4790
鹿児島支所電話0996-30-0745
(川高5期)

菊池史憲法律事務所

辯護士
菊池史憲
事務所
〒189-0013
東京都東市村山市栄町2-25-8
エリナスビル2F 201号
電話 042-390-0167
FAX 042-390-0168
(川中46期)



若手ホープに期待が高まる！

青年・淑女に満足顔の種平師匠！斜め45度の好アングルで、表情が映えている。



可愛山同窓



東京可愛山同窓会



若人の輪が広がる！
最年少の彼も参加し、キバッド！

二年前の五月に「川内高校 気張いやんせ連」を結成！若い人を中心に活動の場が広がり、去年は地元はんや祭りに参加。



新留福岡支部会長祝辞



活力と結束で若者を凌ぐ9期の皆様



参加者多数の20期生、大後輩を囲んで談笑



久しぶりね



母校卒後50年の引継ぎですか？17期・18期生の皆様



恒例の抽選会：藤峯先輩ありがとうございます



川中、高女、川高校歌斉唱



次の50年を祈念して！

株式会社
五井キャピタルホテル
シングル¥5,800～
会社役員
齋藤信子
〒290-0081
千葉県市原市五井中央2-3-2
電話 0436-21-1101
FAX 0436-21-1840
(川高20期)

株式会社 南武
会長
崎山美親
事務所
〒179-0073
東京都練馬区田柄3-17-5
電話 03-3926-2466
FAX 03-3926-3466
(川高19期)

(川高17期)
**同期会・同窓会に
おじゃったもんせ**
平成28年同期会
10月22日(土) 15時30分
会場：東京国際フォーラム
ガラスホール横
中国料理「東天紅」

第一東京国際特許事務所
所長・弁理士
小島高城郎
〒100-0006
東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館9階
電話 03-3284-0301(代)
FAX 03-3284-0305(代)
(川高16期)

**ビル清掃全般 有限会社
ジャパンアドバンス**
代表取締役
小田原康郎
〒240-0033
横浜市保土ヶ谷区境木本町13-25
電話 045-711-0938
FAX 045-721-0968
(川高11期)



六十八回 川内高校卒業式に参列して

二〇一六年三月一日 川高十八期 二木 幸男

卒業以来、五十年ぶりに初めて我が母校鹿児島県立川内高等学校を訪れた。

前日、鹿児島空港に夕方降り立った時は東京の暖かさとはまるで違い、小雪の洗礼を受け、当日も想定外に寒く、卒業式シーズンの春日和とは、ほど遠い気温2度前後であった。

九時前に、高校の玄関に着くと三人の在校生(女子)が寒そうに案内のプラカードを持ち応対してくれた。校内はほとんど人影もなく、受付は校舎最奥にある可愛山同窓会館だった。未だ、早い時間だったので、三十人程度しか集まっていなかったが、ほとんど知らない人ばかり(卒業生の祖父や祖母?の様に)に見えた。集合時間前になると部屋一杯になり、あちこちで、久しくご無沙汰していた仲間との会話が飛び交っているが、それでも昔の面影がなかなか出てこない。総勢百二十八名(内、卒業後二十五年組が十名程)とのことだった。

やがて、卒業式が行われる体育館へ案内された。そこには既に、在校生や卒業生のご父兄が整然と席についていた。暫くして、来賓入場後、実際の卒業生八クラス三百余名が二列で入場して来て厳かに卒業式が始まった。感動させられたのは、来賓が祝辞を述べる度に登壇されると、合図もないのに、規律正しく整然とスーツと起立し、また、終わるとスーツと三百余名が一糸乱れぬように一同に着席する素晴らしい統制のとれた態度であった。式が進み、卒業生代表の答辞は後輩へ力強く心温まる激励のメッセージ、親御さんへの感謝と旅立の意気込み、恩師への感謝、来賓への気遣いの挨拶等に涙腺を刺激された。

式終了後、有志がバス二台で市内観光へ。行先は川内原発の見学と新田神社への参拝であった。この川内原発は今や、事ある度に「再稼働一号機」としてTVで放送され、全国的に有名になった。我が同期の有村隆治君(九大↓三菱原子力)は一、二号機の設計に携わっていた。展示館での概要説明後、発電所内へ、津波や放射能漏れがあった場合の対策について幾重も想定以上の対策が施されているのを知った。最悪の場合、原発内に数十人がコンクリート製の厚い壁で外気と遮断された部屋で十日間くらいは外に出なくても、食糧の貯えが有り、政府他関係機関とのテレビ会議が出来る会議室、電源が落ちた場合の自家発電システム、火事が発生しても、市の消防車と隊員が平時でも常駐していて、あらゆる対策が施されていたことを知り安堵した。

その後、新田神社へ行き、三百余段の階段を五十年前の部活の練習を思い出しながら、歩いて上り参拝した。夕方から、市内のホテルオトリにて懇親会があり、早朝からなかなか思い出せなかった同期も旧知を介しての語らいで昔の仲間の顔が蘇ってきた。更に、驚いたことが二つ、まず、一つは我々の同期は卒業時九クラスで約五百人弱であったが、既に物故者は一クラス相当の四十五名(合掌)。また、二つ目は、同期の尾島純市君(元野球部のピッチャー)が二〇一三年にアマチュアのゴルフ選手権で優勝し、日本一になったとのこと。五十年経っての卒業式への参列は本当に思い出深いものになった。と同時に、今後五十年を経て会える人はほとんど皆無だろうと思うと一抹の寂しさも感じた。懇親会の最後、二十年后にまた会いましょう!との提案があった。参加するには八十八歳(米寿)まで生きながらえねばならず、凄く難しい事であるが、これからは健康に留意・精進して、なるべく多くの人が集まれる様祈願した。

翌日、有志のゴルフコンペ(四組)にも参加した。優勝は前述の尾島君がブツギリの優勝であったが、私としてはグロス八十八と良い数字で廻れて気分爽快であった。

川高卒業後、熊本大から東京の油圧メカに技術者として就職した私は、高速道路や新幹線のトンネルの掘削機の開発設計・製作に従事し、その後、掘削機使用促進の為、技術営業等で全国(沖縄から北海道)を駆け回り、また、海外出張や国際会議等で、南極大陸以外の大陸には全て行く機会を得て、故郷は遠く、有りて想うものと思っていたが、やはり、故郷川内に帰り旧知と懐かしさを興じる方が素晴らしく感慨深いものと思われた。

最後に、この企画を一年間、手弁当で段取りをしてくれた右田健二実行委員長他委員に多謝!



株式会社
トラスト・ファイブ

代表取締役
南 蘭 浩 一

〒102-0082
東京都千代田区一番町13-3
ラウンドクロス一番町五階
電話 03-3409-1351

(川高26期)

鹿児島酒処ふるさと

代表
小 山 猛

〒160-0004
東京都新宿区四谷1-8-14
四谷一丁目ビルB1
電話 03-3352-0031
JR各線四谷駅徒歩3分
東京メトロ南北線四谷駅徒歩1分

(川高26期)

株式会社エース・システム・エンジニアリング

代表取締役
堀之内 佳 武

〒187-0045
小平市学園西町2-14-4
LM209
電話 042-348-5671
FAX 042-348-3785

(川高25期)

福 山 喜 代 子
旬肴素処

〒104-0061
東京都中央区銀座2-16-7
電通恒産第3ビル1階
電話・FAX 03-5565-1883

(川高24期)

株式会社キーバインド

代表取締役
坂元隆也 (川高23期)

専務取締役
渡邊泰久 (川高26期)

〒171-0033
東京都豊島区高田3-18-11
シルヴァー高田馬場ビル4階
電話 03-5928-9021
FAX 03-5928-9022

ふるさと通信

市民の安全・安心の拠点として 新消防庁舎完成

薩摩川内市消防局長 新 盛 和 久(川高30期)

東京可愛山同窓会会報に執筆の機会をいただきありがとうございます。

昨年の本市の火災件数は36件で、過去最低の火災件数になりました。平成23年6月に住宅用火災警報器が全ての住宅に義務付けられましたが、その前年から、市内約4万5千世帯にローラー作戦を展開し、住宅用火災警報器の設置促進と火災予防の指導をしましたが、その翌年から火災件数は半減し、そして昨年過去最低の件数となりました。

ちなみに本市の住宅用火災警報器の設置率は95%で県内最高です。

一方、救急件数は4,173件と過去最高になりました。特徴は高齢者搬送率の高さです。救急件数の6割以上は65歳以上の方の搬送となっていますが、救急件数の増加と高齢者搬送の増加は2025年をピークにこれからも続くものと予想しています。

さて、一昨年、平成26年7月18日、新消防庁舎が完成し、運用を開始しました。敷地面積、9,158㎡ 地上3階建延べ面積は5,277㎡で、1階が防災研修センター、車庫、仮眠室。2階が中央消防署、3階は消防本部及び通信指令センターになっています。

新庁舎建設の背景は、第一に狭隘化がありました。旧庁舎の建設時には職員数は56人でしたが、現在、148人になり、また、車両も大幅に増え、庁舎や車庫が手狭になりました。

次に大雨による浸水もありました。平成18年の北薩豪雨災害では、旧庁舎前の国道が浸水し出動不能になり、また、敷地も冠水する事態となったことから、高台移転の機運が高まり、旧庁舎から北側約1kmの天神池近くに移転しました。

訓練塔は、主塔、副塔、補助塔があり、主塔は国分寺の七重の塔をイメージし、高さ約25m。はしご車等を使った救助訓練が実施でき、また、副塔には燃焼実験室や濃煙熱気室があり、実践さながらの訓練が実施できるようになりました。



新庁舎



訓練棟



防災研修センター

1階の防災研修センターは県内で初めての施設で、地震体験、暴風雨体験、煙からの避難施設等があり、これまで、1万3千人を超える市民が研修に訪れておられます。「災害に強い市民」を養成するため、これからもPRに努め、多くの市民に活用していただく施設にして参りますので、帰省の際はぜひお立ち寄りください。

これからも、新庁舎を活用し、市民の負託に応えられる消防を目指して職員一同頑張ります！

**株式会社
ワン・ストーリー**
代表取締役
柏田かおる
〒108-0074
東京都港区高輪1-23-23-1511
Eメール: kashiwada@storydesign.jp
携帯 090-7949-8038
(川高40期 旧姓 高田)

**株式会社
ライトスタッフ**
代表取締役
末永力男
〒151-0051(原宿本社)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-60-1
電話 03-3796-0841(代表)
〒532-0011(大阪営業所)
大阪市淀川区西中島4-7-20
日宝新大阪第1ビル307号
電話 06-6306-6011
(川高27期)

**KDi Advisory Service
株式会社**
代表取締役
公認会計士 税理士
井原秀憲
〒102-0076
東京都千代田区五番町2番地
横山ビル3階
電話 03-3222-0013
(川高26期)

有限会社リア機工
代表取締役
砂田利美
〒179-0074
東京都練馬区春日町1-18-16
電話 03-3825-2328
FAX 03-3825-8211
(川高26期)

株式会社インテック
代表取締役
脇園弘康
〒113-0033
東京都文京区本郷2-10-5
富士ビル別館
電話 03-3830-1911
FAX 03-3830-1912
(川高26期)

平成 27 年度 年間維持費 払込の皆様 ご協力有難うございました。(順不同・敬称略)

※この会費は平成 5 年から頂き、総会の準備に必要な通信費・幹事会などの費用として使わせて貰っています。

28・1・7 現在

川中41期 黒江賢一 有馬東洋男	小鷹まり子 山内安子 宮川芳子 堀史郎	是枝邦一 永蘭政隆 塚田敦子	小田原康郎 後迫洋子 橋口武俊 阿部紀恵 久保田隆子	山本勝生 土橋エイ子 倉岡勝子 白濱直樹 金子陽子	吉永彰俊 津田義由 村尾田由 林垣七 板場中 木中綾 野中尾 田元良 村松限	青崎悟郎 松山留宏 徳富盛幸 安前博 勝昌久
川中45期 後藤俊二 富士代照夫 榊邦弘 岩切孔 井上脩	樋渡眞明 大六野善弘 田中嬉子 鹿子木ヨ子 鮫島陸子 茶圓二治 鈴木貞夫 濱原展至	川高9期 坂元文磨 上蘭昭大 坂本幸恵 瀬戸山正 吉満芳明 大橋利美 内田四郎 吉武宣生 堤信多美 福寿亮秀 森下邦彦	川高12期 久富木寛 若松庸行 成田憲四郎 北野正義 柚木克幸 米盛寧英 杉本寿々代 仲隆子 小谷トシ江 家村由美子 山ノ内いつ子 森園泰夫 矢野正和 和橋昌馨 梅田俊之 福野東和 中井裕士 藤濱秀幸	川高15期 赤崎重夫 松下睦朗 黒木絃子 上ノ原ミツヨ子 富山順勝子 石田由紀子 吉田伸子 内野克子 河野孝平 田上隆昭	川高19期 上堀廣二郎 崎山美観 楠元佐知生 野田久美子 佐藤義和 山口喜朗 平山修二 今原恭隆	川高24期 川畑高久 佐藤恵子 上口信行 谷みさ子 大橋みさ司 馬中孝博 浦場正順
川中46期 鈴木和典 國分友三 神幸郎 高木修夫 船越昭生	川高5期 中間芳弘 上哲郎 高柳助義 中田芳子	川高10期 南清彦 神武中央 茶圓一昭 長嶺紀美 吉田美弥 小川紀子 小田原与志 落玲子 小鷹和孝 石塚出浩 吉村美代 中野廣久 猿渡澄子 新本しのぶ 山場貞成 木有馬容子 高野泰次 福岸美喜 福永康男 山崎朱美 吉留保夫	川高13期 皆吉捷行 福重憲二 藤山普久 川畑昭子 荻田安子 鈴木富美 植村康亮 鈴木好年 濱永義久 田中洋子 青山佐智 森野悦子 新留啓正 松木俊雄 阿保南海子	川高16期 橋口四男 福山怡夫 木村ムツ子 森木訓平 芝沼美佐 秋森順和 加藤勝輔 鍋鈴木宰 大野重昭 川畑鹿津 中村春恵	川高20期 村野四郎 西上原久 児玉良美 小倉芳子 齋藤信子 村田惠子 塩田律子 小藤原好 橋口むつみ 佐藤洋一 柏崎ひろ子 徳永のり子 小南俊作 佐藤修二	川高25期 田上章子 桑原能章
川中47期 新地兼丸 田中秀昌	川高6期 大吉敏夫 吉川紀代子 山田絹子 山ノ内充志 内田恭啓 長瀬尉弘 松永憲明 落合正周 山元昭徳 中馬幸典 野村正明	川高11期 肱岡猛雄 小林立英樹 下野義則 野間口のり 吉成紀子 養母紀代 吉田浩一 松山安子 由井蘭忠 浜田泰良 中宅間紀男 藤山喜照 若松幸代	川高14期 青崎善睦 久保野洋 上永建男 黒木紀代 明石光洋 柳田和子 花谷和子 中北富美	川高17期 成松正章 宮原徳夫 有光克伸 貫蘭純一 向原佳子 若本ミサキ 坂本タミ子 平村純江 有森園イ子 神田ツヤ子 上川美代 岩藤万恵 伊佐藤愛子 佐若松喜代 山本ノブ子 程木ヤス子 西木場憲二 鶴迫正人	川高21期 植村真理子 小川和枝 日向野京子 村松久美子 高橋知恵子	川高26期 上江川謹次 上口勝行 吉野伸一 宇都万佐子 加藤公成子 岡田成洋子 荒園明紀子 花江口信二 池田山次郎 大森千恵子 本間康子 楠之岩明
高女25期 伊勢文子 上原貞子	川高7期 田畑香代子 阿部芳子 東原順雄 猪原暉一 鮫島隆洋 上野武徹 新ノ内巖江 清水幸子 遠藤涼和 遠矢知枝 石川原光治 小藤百合子 加藤吉治 時木場群治 森西岩利夫 葛園村道永 島切靖夫 岩元尚男	川高18期 黒木安男 小原信夫	川高22期 荻野良宏 田畑久美子	川高23期 北見幹子 山元龍也 福永安子 函川廣一 小落合誠子 小谷川仁子	川高27期 池田博之 中西淳一代 田島紀美誠 楮山口讓代 江之口鶴代 春木鶴代	川高30期 久留主泰朗
高女27期 大竹淑子	川高8期 久留宏道 岩切貫一 森山浩子 塩釜道孝 屋久孝夫	川高31期 長谷川ひろみ	川高32期 根本京子 有馬絹代	川高33期 根之園雅靖	川高34期 田中さやか 佐貫慎也	
高女30期 勝目洋子 平田昌子 田中三恵子	川高4期 矢田淳子 有村正記 馬場康隆 真田カズエ					

第五十回総会報告

幹事長 皆元正幸(川高二十四期)

五十回総会は平成二十七年六月六日(土)霞が関の東海大学校友会館にご来賓五名を含め、総勢百六十七名の出席のもと盛大に開催されました。今回は設立五十周年の記念大会で、第I部では種子島出身の落語家・林家種平師匠をお呼びして祝賀落語公演を行いましたところ、会場に入りきれないくらい盛況で、酸欠になるのではないかと心配するほどの賑やかさでした。第II部の総会は役員改選があり、川高二十七期の桐原新会長のもと、スタートすることになりました。ご退任されました愛甲彰人前会長、南勝彦前副会長には二期四年にわたり、お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。第三部懇親会では数多くの方にご登壇いただき、先輩後輩の別なく楽しく語り合い、盛会裏に終えることができました。今年も参加してよかつたなと思えるような会にすべく役員一同準備しておりますので同期の方をはじめ、多くの同窓生にお声をかけていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

活動経過報告

- 平成27年 4月9日 会報14号 校了
4月22日 幹事会事前準備(幹事会配布資料、欠席幹事宛案内発送作業)
4月23日 役員・幹事会(第五十回総会議題、会報案内等資料配布)
4月25日 会報寄稿者・広告協賛者へのお礼状発送
5月27日 会場打合わせ(東海大学校友会館)役員会開催
6月4日 総会最終準備
6月6日 第50回総会開催
6月25日 役員会(総会反省及び慰労会)
9月30日 役員会(役員・幹事会の議題等)
11月25日 役員・幹事会(第51回総会に向けて)
平成28年 2月2日 役員会(第51回総会準備スタート)
3月30日 役員会(会報進行状況確認)

第50回 東京可愛山同窓会 会計報告

平成27年6月6日(土) 東海大学校友会館にて開催

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

(単位:円)

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Includes sub-totals for 総会経費, 幹事会経費, and 事務費. Total income is 2,655,795 and total expenditure is 2,203,463.

左記の通り報告します
東京可愛山同窓会 会 計 高城 尚子
東京可愛山同窓会 会 計 植村 健二
監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。
東京可愛山同窓会 会 計 監事 山下 重孝
東京可愛山同窓会 会 計 監事 木下 公明

平成27年度東京可愛山同窓会出席者名簿(受付順)

平成27年6月6日

Table listing attendees by graduation year (卒業期) and name (氏名). Includes names like 山田鳥 稔, 藤崎 恭一, etc.

Table listing attendees by graduation year (卒業期) and name (氏名). Includes names like 川高18期 松山 茂, 川高19期 下菌 明治, etc.

注)太字は、当日出席者

(出席者合計 167名)

投稿

4 万 5000 キロの船旅

唐見 博行 (川高 20 期)

●旅の始まり：2013 年 7 月出港、西回り 80 日間の船上生活

40 年のサラリーマン生活を終えた記念に旅に出ようと思っていた時、地球一周のポスターを見て、これだと決めました。船が嫌いなカミサンを残しての一人旅に不安もあったのですが、乗船してみると、似た者同士が一杯いました。思い切って行動してみれば、何とかなるものだと実感した旅でした。



●船内生活

乗船者は 3 歳から 93 歳まで老若男女 800 人。船内生活の始まりは、夜明けと共にラジオ体操、太極拳。その後は、心地よい潮風とモーニング珈琲。眠っていた頭がすこしずつはっきりしてきます。海を見ながらの朝食は何とも気持ちがいい。毎日配られる船内新聞で一日の予定を立てる。日中は同好の士が集まっているの趣味、水彩画などの習い事、スポーツ、囲碁将棋、麻雀など。そうしている内に夕方。一日の終わりは水平線に沈む夕日を見ながらの一杯です。見上げる夜空は満天の星空。



ピースボートのデッキで一服

●海賊と護衛艦

インドから紅海に向かう一週間。船内に緊張。ソマリア沖の海賊です。今時そんなことがあるのかと思うのは、平和ボケの日本人です。夜中、船尾より鎖を引っ掛けて登ってくるそうです。機関銃を持って。客室の窓は鉛が貫通しない厚さの鉄板で囲い、その他の開口部は船外に明かりが漏れないように遮光カーテン。それでも危ない為、この沖を通過する日本の客船、タンカーなどは一団となって進み、前を護衛艦が守ります。



ソマリア沖の護衛艦「あけぼの」

●ペルー

もう一度行きたい国はペルー。標高 3000M を超えるクスコの街には昔栄えたインカ帝国の遺産があちこちに。移動中に見えた穏やかな起伏の草原。その向こうは雪を抱く 5000M 級の山々。眺めているとつい涙してしまいました。何の涙だったのか、もう一度行って確かめてこなくてははいけません。



雪を抱くペルーの山々

●旅の終わりに

日本から西へ西へと船は進み、どんどん日本から遠ざかっていきます。南シナ海、インド洋、地中海、大西洋、そして太平洋と。その西の外れにあったのが日本でした。やっぱり地球は丸かった！

人物紹介

南日本新聞投稿原稿

「世のため人のため」

とつづくに還暦を過ぎ、鬼籍に入る仲間も出てきたが、小学校時代の同級生の悲報を聞くと葬儀に参列、時間がなければ帰省の度に線香をあげに行く、黒塗りの車でなく自転車で・・・
まったく飾り気のない大阪在住の Y 君、その彼が大阪弁護士会会長に選出されたとの報が入ってきた。彼の人柄を知っていれば当然のことと思われる。強い信念を持ち世のため、人のため頑張っている彼と小中高と一緒に歩いてきたことが嬉しく、誇りに思う・・・

山元俊美草稿

※Y 君 関西可愛山同窓会会長

山口健一氏 (川高 20 期)



同期会
だより

10期会 (33年卒) (燦々会) 活動報告他

副会長 久保信行

10期会の会員は関東地区で、今でも約80名います。毎年一回、25名〜30名くらい集まって、同期会を開いています。可愛山同窓会の幹事は上野ツヤさんが10年以上にわたって務めています。会員80名への会報を送るのに、毎年、コツコツと宛名を書いて発送してもらっています。同期会は、30年以上前から、毎年、各クラス順に幹事が交代して実施してきましたが、5年くらい前から人数の多い別々のクラスから5名が選ばれ、同じ人達が、世話係を引き受けています。私が世話人代表となっています。

東京可愛山同窓会の副会長を私(久保)が、前監査役を前田成文君が引き受け、薩摩川内会では近藤美美子さん(水引)が副会長、有村辰義君(亀山)、内野誠君(湯田)が副幹事長、内田国健君(峰山)、福永康男君(育英)が常任幹事、私(可愛)が監査役と多くの人が、ボランティア精神を発揮して、役員として協力しています。非常にまとまりがあります。

東京可愛山同窓会総会への出席者数もここ10年近く、12名〜18名と各期別ではトップの数を維持しています。年間維持費支払者も同じくほぼトップを続けています。

しかし、私達も数え年で77才になり、昨年の11月4日に川内のグリーンヒルで約80名集まり、「喜寿祝」を行いました。今後はトップを維持することは難しいと思いますが、先輩達の中には、喜寿を機に同期会を解散したという話も聞きますが、私達は、元気なうちは、続けようと思っています。早速、今年の4月7日には、関西地区が中心となって「姫路」で同期会を開く予定であり、関東からも5〜6名が参加する予定です。

27年度の総会の出席者は来賓を除き、162名でしたが、7期〜13期で61名と4割近くになっており、30期以降では16名しかなく、(特に30期〜40期は3名)、10年後はどうなるだろうと心配されます。今の70才台の人達が頑張っている内に、50代、40代以下の人達の参加者が増えることを期待します。

東京可愛山同窓会期別幹事

川内中学		8期	山口 章	24期	皆元 正幸
41期	長谷場琢哉	9期	柳田 宏幸	25期	桑原 能章
45期	富士代照夫	10期	上野 ツヤ	26期	渡邊 泰久
46期	菊池 史憲	11期	小田原康郎	28期	植村 健二
47期	(山口 秋知)	12期	今村 祥史	31期	石上 聡子
48期	(上野 学)	13期	落合 寛周	32期	永田 昭一
川内高女		15期	高澤 裕之	37期	上村 忠
28期	皆吉 典子	16期	矢野 幸	41期	三木 深志
31期	中間 芳子	17期	高城 尚子	42期	春田 英樹
川内高校		18期	二木 幸男	43期	田端 善弘
1期	山口 秋知	19期	下薗 明治	44期	宇都 正信
2期	上野 学	20期	唐見 博行	48期	田代 隆志
5期	田中 正治	21期	徳丸 律	52期	吉永 慎
6期	木下 公明	22期	山下 重孝	55期	山下 晋平
7期	岡野 孝司	23期	坂元 隆也		

同期会活動報告

- ★7期 東京7期会：平成27年11月7日(土) 東海大学校友会館にて昼食会を開催 薩摩川内・福岡・大阪からも参加 総勢26名
- ★8期 川高関東八起会：平成27年11月21日(土) 13:30〜15:00 銀座：素処にて開催(会費5,500円 男性8名、女性1名 計9名) 関東八起会会長 小牧久純、世話人 野入憲一、若松俊宏
- ★9期 平成27年10月23日(金) 千代田区麹町スクワール麹町(百合の間)19名参加 今年も10月を予定
- ★12期 平成27年10月25日(日)〜26日(月) 熱海：ホテル弥生にて開催 17名参加(泊2日) 翌日、箱根観光 *芦ノ湖棧橋にて訪日中の世界美女集団と遭遇
- ★17期 平成27年10月24日 芝弥生会館にて開催 22名参加
- ★20期 平成27年12月23日(水：祝日)16時〜鹿児島遊楽館にて忘年会15名(栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川から男7名、女8名)参加
- ★21期 平成27年11月6日(金) 東京で開催 川内を含め東京近郊以外からも参加あり、54名出席
- ★24期 平成27年11月15日(土)17:00〜 横浜関内のインド料理「モハン」にて開催 21名参加 *開催前、ビール工場見学・ボーリング大会実施
- ★26期 平成27年12月5日(土) グランドプリンスホテル新高輪で開催 25名参加

編集後記
東京可愛山同窓会は、昨年発足五十周年を迎えました。明治三十年四月十六日に県内二番目の鹿児島県尋常中学校第一分校発足後、大正二年開校の薩摩郡立実科高等女学校(大正八年、鹿児島県川内高等女学校と改称)が昭和二十三年の学制改革に伴い鹿児島県立川内高等女学校と統合されてから、来年は百二十周年を迎えようとしています。この間の卒業生は、創立百十年史に三万七千人弱を数え、この十年間を加えまして四万名の同窓会員となります。地元鹿児島県に籍を置く会員は七割を占めるとはいえ、関東七県には実に十四%を占める多くの会員が多様なキャリアを築く一方で望郷の念と母校愛が校訓「敬愛」の遺伝子となって継承されていると実感しております。東京可愛山同窓会の会報に携わること六年、この第十五号を最後に徳丸様(二十一期)が後継者として快諾して頂きました。私は、四月から可愛山同窓会久保事務局長の後任として、同窓会事業を継承します。これからの会報編集には多くの方々の暖かいご支援を頂きまして深く感謝を申し上げます。(編集担当 吉留和男)

- 東京可愛山同窓会 役員名簿** 平成二十七年六月七日選出
- 名誉会長 橋口 英俊 (高七期)
 - 会長 桐原 保法 (高一六期)
 - 副会長 皆吉 典子 (高女二八期)
 - 副会長 久保 信行 (高一〇期)
 - 副会長 尾久 博司 (高一〇期)
 - 幹事 渡邊 泰久 (高二六期)
 - 副幹事 皆元 正幸 (高二四期)
 - 副幹事 吉留 和男 (高二〇期)
 - 副幹事 石上 さと子 (高三〇期)
 - 副幹事 柏田 かおる (高四〇期)
 - 副幹事 宇都 正信 (高四四期)
 - 副幹事 入角 英樹 (高四六期)
 - 副幹事 高城 尚平 (高五五期)
 - 副幹事 植村 健二 (高一七期)
 - 副幹事 木村 公明 (高一七期)
 - 監査 山下 重孝 (高二二期)
- 【事務局】〒一七一〇〇三三 豊島区高田三二一八一―一 シルヴァー高田馬場ビル四F (株) キーパインド内
電話 〇三(五九二八) 九〇二二
FAX 〇三(五九二八) 九〇二三

期別広告

<p>(川高28期)</p> <p>植村 健二</p> <p>有志一同</p>	<p>(川高23期)</p> <p>同期会開催案内</p> <p>日時：11月19日(土)午後予定 場所：渋谷東武ホテル (幹事) 朝隈 三裕 090-3225-6562 山下 律子 090-7417-5662 玉置 康廣 090-1468-4018 山元 龍也</p>	<p>(川高18期)</p> <p>有志一同</p> <p>有村 隆治(西中) 松山 茂(北中) 新原 隆一(南中) 二木 幸男(南中)</p>	<p>(川高13期)</p> <p>関東同期会は、毎年 11月23日に実施。</p> <p>場所・時間は未定 (都内予定)</p> <p>連絡先：落合寛周 (携帯080-1242-4578)</p>	<p>(川高8期)</p> <p>祝 51周年</p> <p>関東八起会一同</p>
--	--	---	---	---